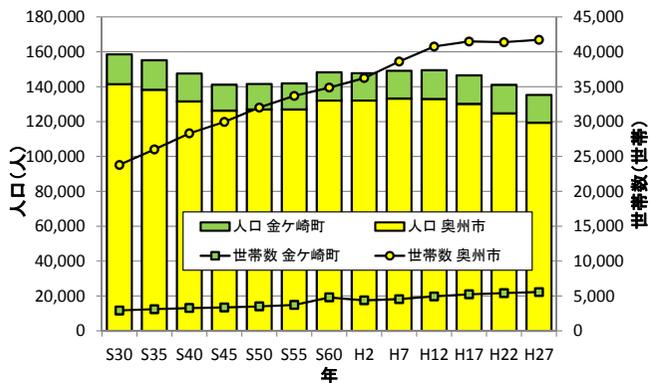
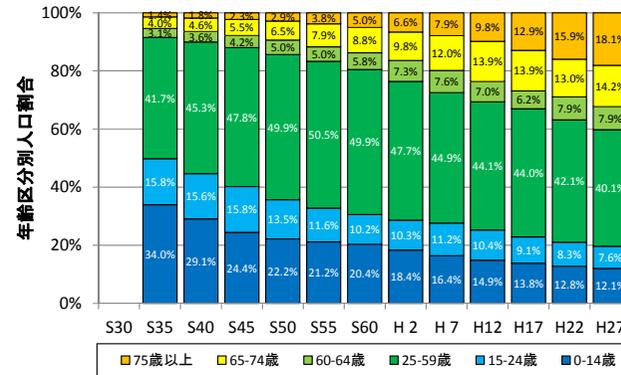


# 7.1 水源地域の概要

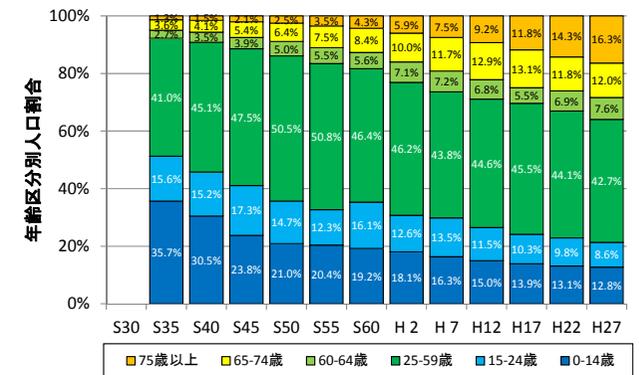
- 胆沢ダムは、**岩手県内陸南部の奥州市に位置し**、ダム下流には県下有数の穀倉地帯である胆沢扇状地が広がっている。
- 奥州市では**人口減少と高齢化が進み**、ダム下流の金ヶ崎町では**高齢化が進んでいる**。
- 県内最大規模の「岩手中部金ヶ崎工業団地」が立地する**金ヶ崎町の製造品出荷額は、昭和60年以降大幅に増加している**。



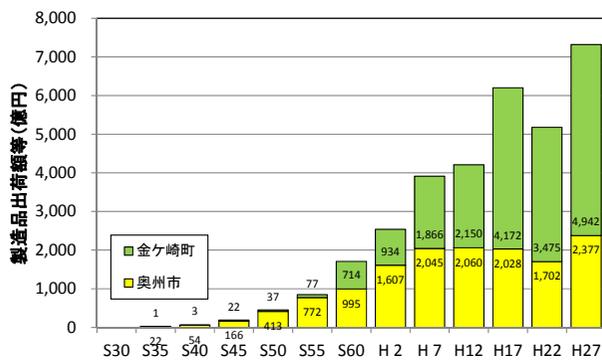
奥州市及び金ヶ崎町の人口・世帯数の推移 (奥州市誕生前は、構成市町村人口の合算)



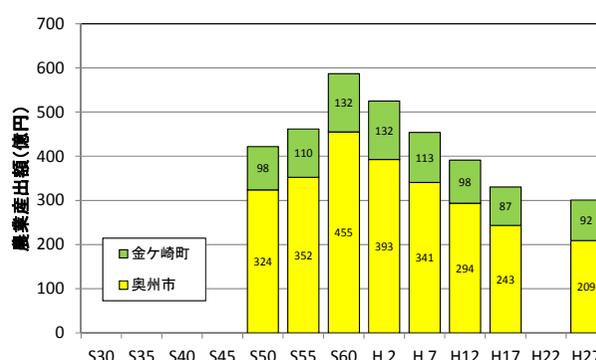
奥州市 年齢区分別人口割合の推移



金ヶ崎町 年齢区分別人口割合の推移



製造品出荷額



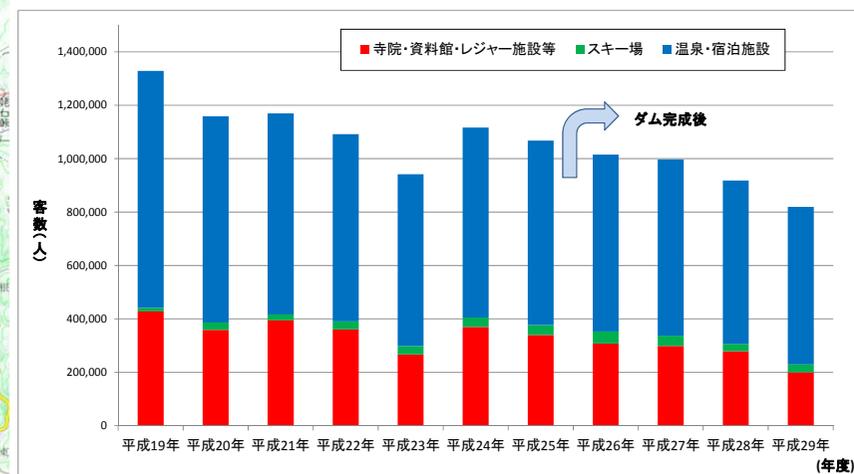
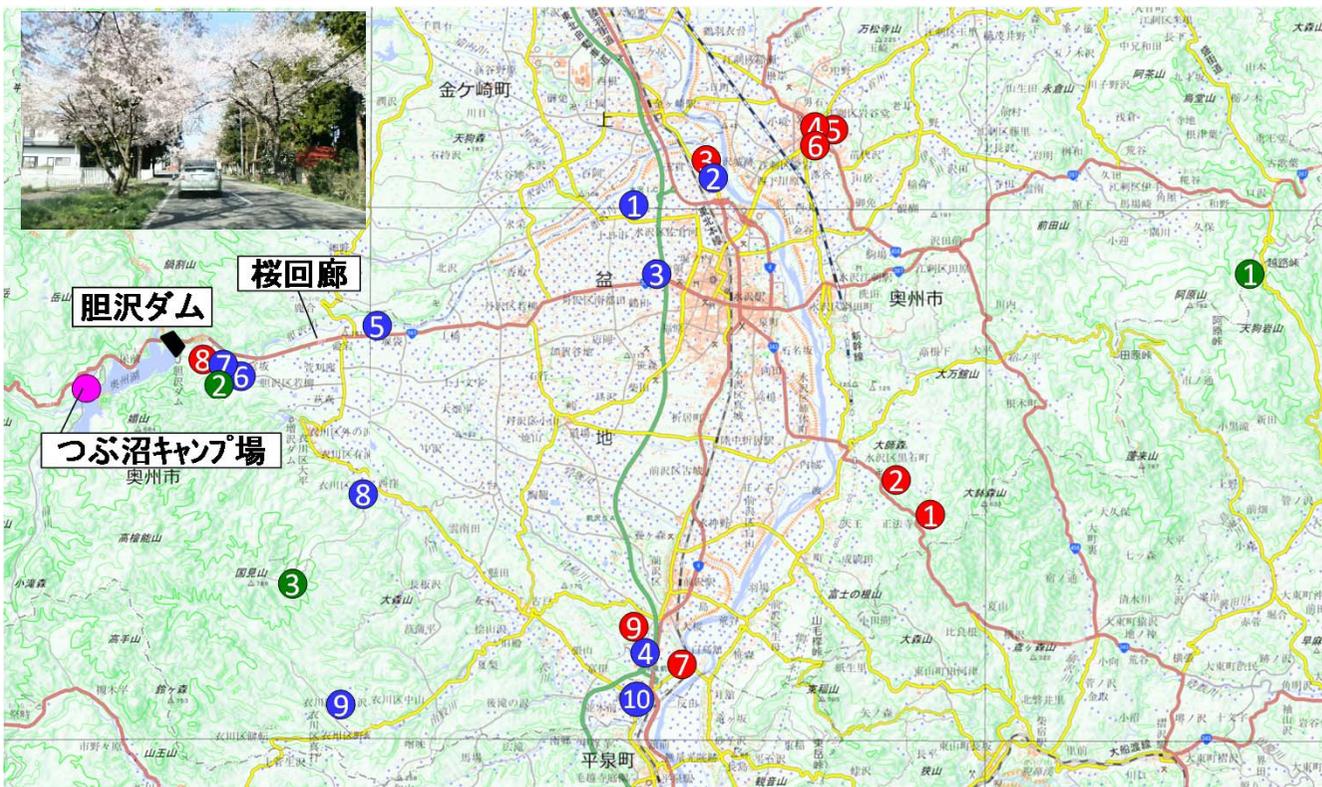
農業産出額



水源地域の概要

## 7.2 ダム周辺施設の整備状況

- ダム上流域では、高山植物や紅葉が楽しめる他、ブナの森に囲まれたキャンプ場がある。
- ダム下流域は、温泉施設やスキー場、交流促進センター「やけいし館」がある他、国道397号沿いには約7kmに渡るソメイヨシノ600本の桜並木があるなど、**観光レクリエーションの場**となっている。



観光地点等(22施設)の入込客数

### 【温泉・宿泊施設】

- 胆沢川温泉さくらの湯
- 薬師堂温泉
- 水沢石田温泉
- 前沢温泉舞鶴の湯
- 瑞月(旧すばおあご)
- 焼石クアパークひめかゆ
- やけいし館
- 国見平温泉
- 黒滝温泉
- サンホテル衣川荘

(計10施設)

### 【スキー場】

- 越路スキー場
- ひめかゆスキー場
- 国見平スキー場

(計3施設)

### 【寺院・資料館・レジャー施設等】

- しょうぼうじ 正法寺
- こくせきじ 黒石寺
- 胆沢城跡(埋蔵文化財調査センターを含む)
- えさし藤原の郷
- えさし郷土文化館
- 黒壁ガラス館
- 牛の博物館
- 奥州湖交流館(旧胆沢ダム学習館)
- とうほくニュージーランド村(※H29年営業終了)

(計9施設)

## 7.3 水源地域ビジョン(1)

- ダムを活かした水源地域の自立的・持続的活性化を目指す“胆沢ダム水源地域ビジョン”が、平成24年9月にとりまとめられており、ビジョンに基づく取組みが進められている。

【基本理念】

【基本方針】

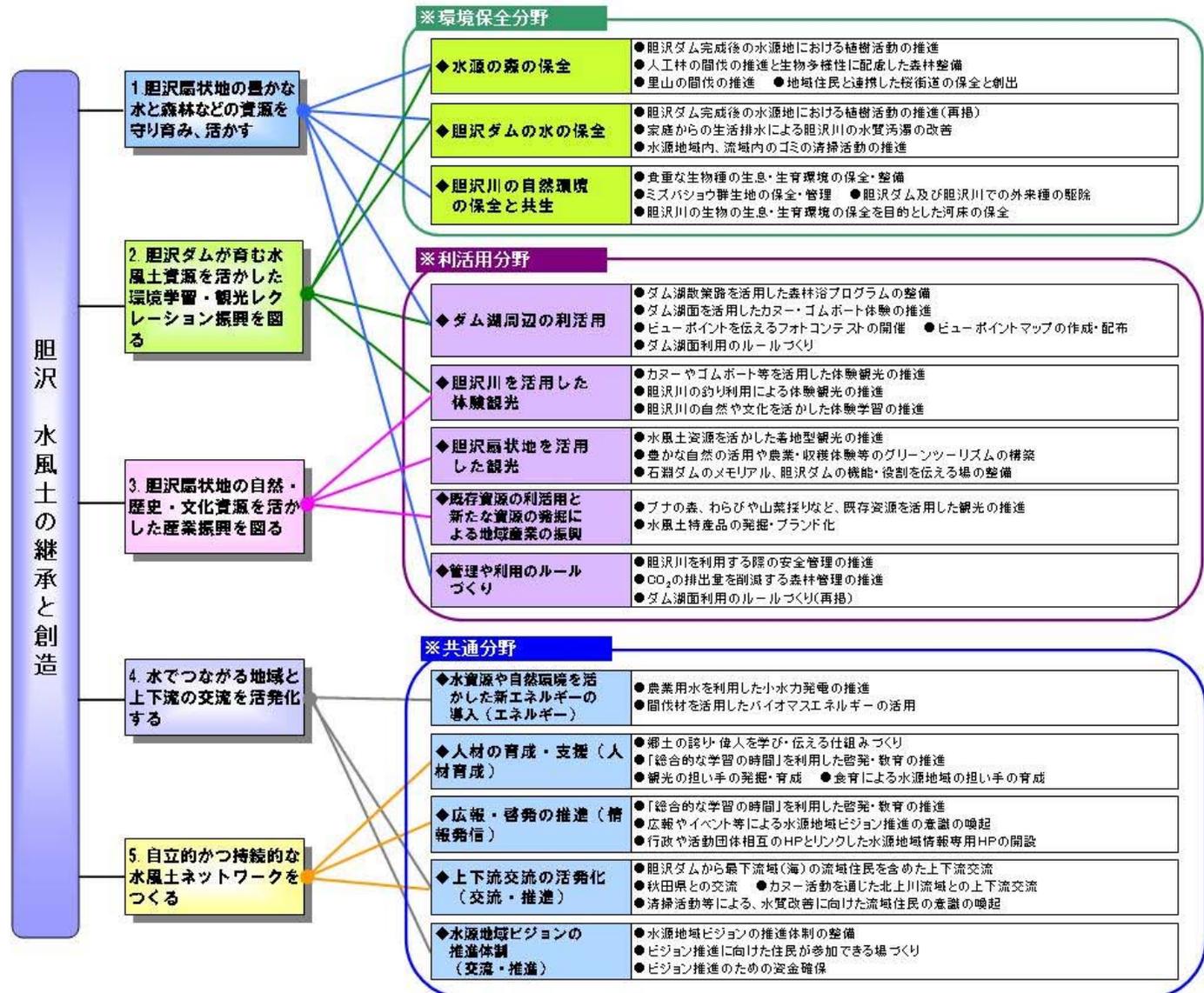
胆沢ダム「水源地域ビジョン」  
(平成24年9月27日 策定)

基本理念と基本方針、取組テーマ

## 基本理念

胆沢 水風土の継承と創造

胆沢ダムの完成を契機として、良好な利水・治水を有した胆沢扇状地の豊かな水風土資源を守り、活かし、伝えながら、それらの資源性を十分に引き出し、新たな地域活性化につなげていく取り組みをより一層活発化していくことを指向し、多様な主体の参加と協働によって生き活きたした「胆沢 水風土」の創造を図ります。



## 7.3 水源地域ビジョン(2)

- ビジョンに基づき、ダム完成当時から地域住民との交流やイベントが盛んに行われている。
- 水源地域活性化協議会や地元団体等の様々な活動団体が連携して実施している。



<森と湖に親しむ旬間>



<植樹活動>



<ダムカフェ>



<湖面巡視体験会>



<カヌー体験会>



<ラフティング体験会>



<ダムヨガ>



<胆沢ダム堤体登山体験会>



<サケの放流>

## 7.4 地域とダム管理者との関わり(1)

- ダム水源地域ビジョンを推進する活動として、ダム周辺においてイベントを開催しており、イベントを通して水源地の活性化推進や水源地の重要性を広く伝えている。
- ダム直下流には奥州いさわカヌー競技場があり、競技時にはダム放流量を調節している。

イベント名	開催月	内容	特徴など
ダム見学会	通年	学校、関係機関、地域住民等の見学者が訪れた。	毎年30～40回実施しており、遠くは北海道からの来訪もある。H29年は1,700人程度が見学に訪れている。
胆沢ダムin春	4月	①ダム堤体の夜間ライトアップ ②ダム下流の馬留池でのカヌー体験会 ③地元特産品の出店 ④栗駒焼石広域みち写真コンテスト受賞作品展示 ⑤奥州湖交流館「懐かしの石淵の里写真展」	奥州湖交流館で写真展を開催したり、ダム堤体の夜間ライトアップなど様々なイベントが実施された。H28年の期間中の参加者は5,200人であった。
森と湖に親しむ旬間	7月	ゲート室、発電所と管理支所展望台の開放を行った。	森と湖に親しむ旬間として、普段入れない施設の特別見学や展望台の開放が行われている。毎年夏に開催している。
カヌージャパンカップ	7月	スラローム、ワイルドウォーターの2種目の競技が行われた。	国内外で活躍する世界レベルの選手が参加。豊富な水量を安定して確保でき、高低差が国内最高レベルの4mと、国内屈指の難コースとして競技関係者の間で評判となっている。
胆沢ダムフェスin夏	8月	①胆沢ダム堤体登山体験会 ②ダム・カフェおよび物販 ③カヌー体験会 ④ラフティング体験会	H28より毎年開催。ダム堤体登山体験やカヌー特設会場でのラフティング体験が好評で、参加者はH29(1,516人)→H30(2,569人)と増えている。
胆沢ダムフェスin秋	10月	①湖面巡視体験会 ②ダム・カフェおよび物販 ③BBQ&カヌー体験会 ④ダムヨガ	H27より毎年開催。地元の高校生が運営するダムカフェ・ダムヨガなど新しいイベントが企画され、参加者はH29(2,600人)→H30(3,743人)と増えている。
希望郷 いわて国体カヌー競技	10月	スプリント、スラローム、ワイルドウォーターの3種目の競技が行われた。	平成28年に開催。全国から7,000人の参加・見学者があった。



ダム見学会



胆沢ダムフェスin夏

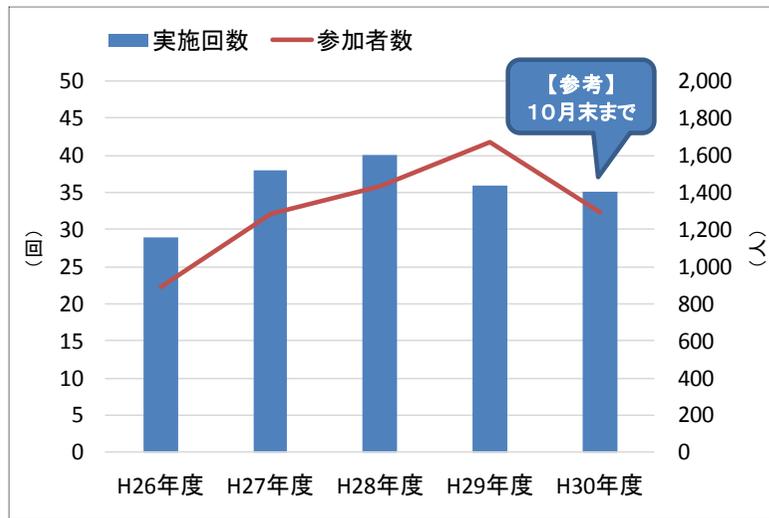


胆沢ダムフェスin秋

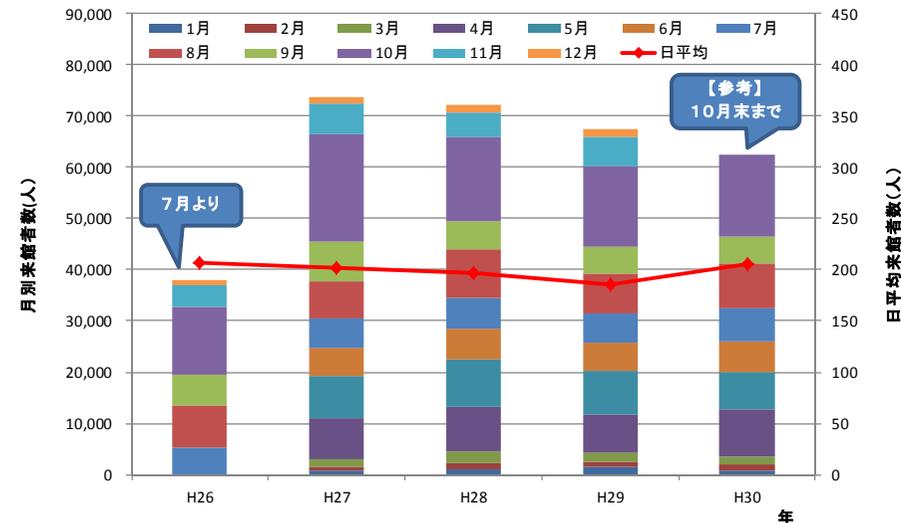
きぼうきょう  
希望郷いわて国体  
カヌー競技

## 7.4 地域とダム管理者との関わり(2)

- 「ダム見学会」を年間30～40回実施しており、平成29年度は約1,600人が参加した。
- 胆沢ダム展示室の来館者は延べ約25万人(平成29年末)を超え、一日200人程の人が来館している。
- 全体の約2～3割は関東など県外からの来館者で、県内からの来館者の約半数はリピーターである。



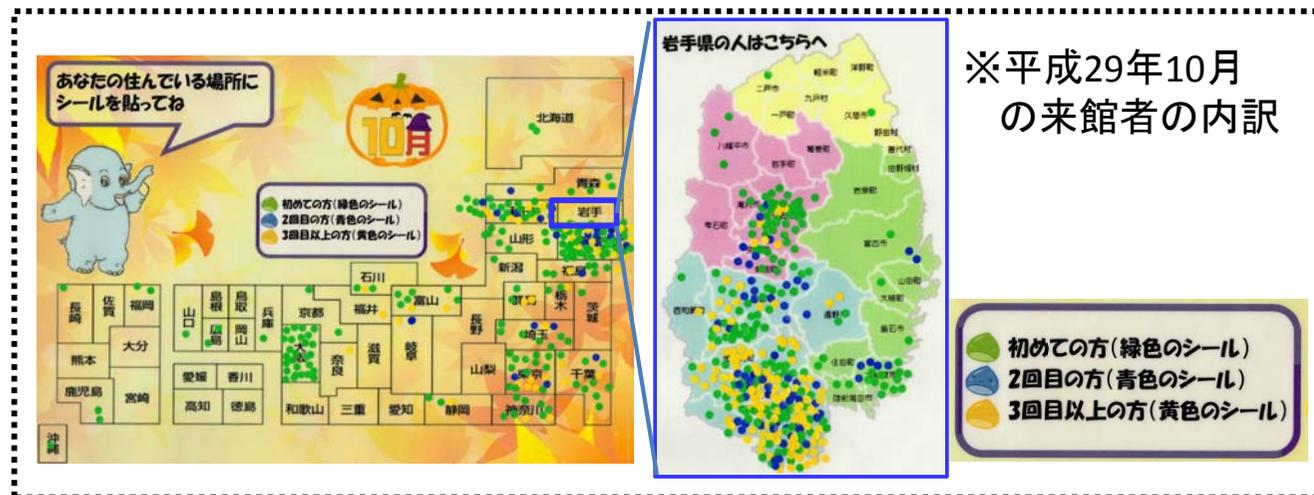
ダム見学会の開催回数と参加者数



胆沢ダム展示室の月別・日平均来館者数

(参考)  
「ダムフェス2018in秋」  
(H30.10.21)には、管理  
開始後の最多となる  
2,375名が来館。

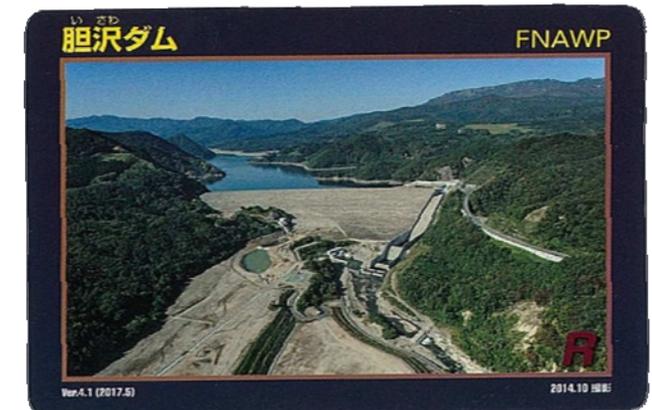
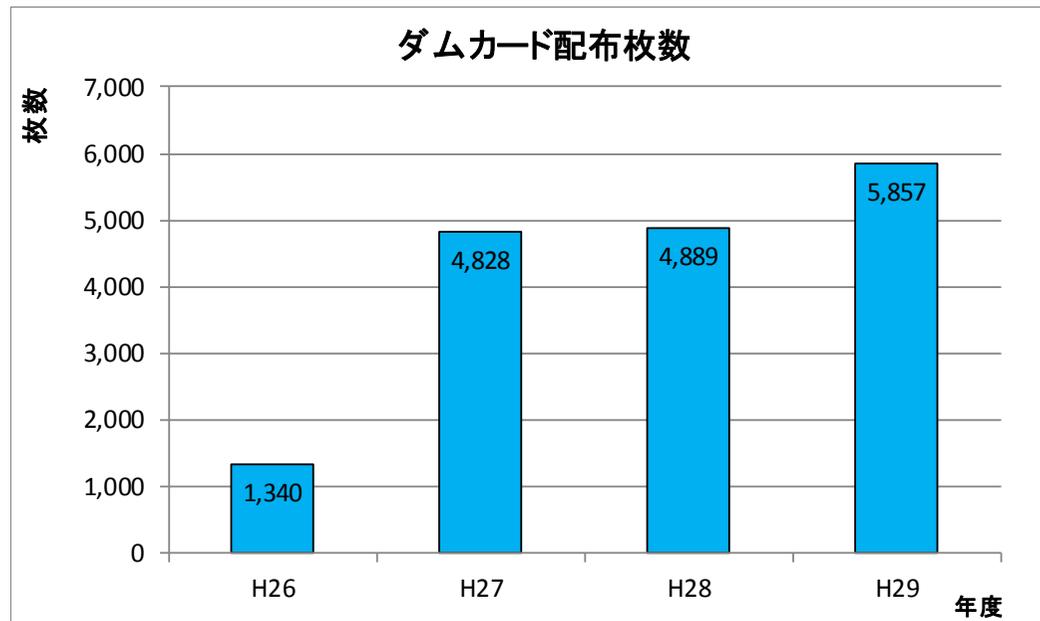
※H30.10に来館者数  
30万人達成。



※平成29年10月  
の来館者の内訳

## 7.4 地域とダム管理者との関わり(3)

- 胆沢ダムでは、平成26年4月からダムカードを配布しており、平成29年度末までに約17,000枚を配布している。
- また、平成30年度は期間限定イベントとして、御所ダムなど県内の5ダムと連携したスタンプラリーを実施している。



表面は貰ってからの楽しみ



裏面は認定証

胆沢ダムカード(Ver.4.1)

スタンプラリーを完全制覇すると入手できる特別カード

## 7.5 ダム周辺の利用状況(参考:カヌー競技場)

- ダム建設に伴い堤体直下に移設された胆沢第一発電所の放流水を活用した、全国的にも珍しい常設の「奥州いさわカヌー競技場」が設置(平成27年度)された。
- 安定した水量や高低差、流速が評価され、第71回国民体育大会(2016希望郷いわて国体)のカヌー競技場として使用された。
- その後もジャパンカップの会場となる等、奥州市の地域活性化にも寄与している。



2018ジャパンカップ開催状況



週末カヌー教室状況



ラフティング利用状況

### 【カヌー競技場の運営・利用状況等】

- 奥州市が占用許可をとり、カヌー競技を活用した地域活性化の政策の一環として運営を担っている。
- 2017年、2018年とジャパンカップを開催。2020年東京オリンピックへ向け、スペインチームの事前キャンプ地候補にもなっている。
- カヌーの他、ラフティング等の導入による地域活性化への寄与が期待されている。

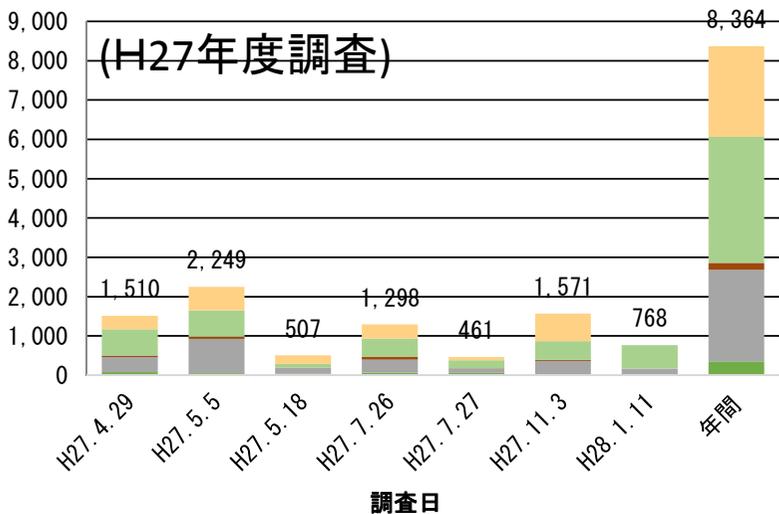
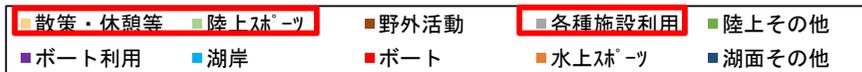
# 7.6 ダム湖利用実態調査

- 胆沢ダム(平成27年)の利用者数は、石淵ダム(平成18年)の約12倍に増加している。
- 約4割が河川敷での陸上スポーツ利用であり、胆沢ダム展示室などの施設利用やダム堤体などでの散策・休憩等をあわせると、全体の9割を占める。
- 利用者のうち、約7割がリピーターとなっている。
- ダム湖周辺を利用した者の約8割が「満足」あるいは「まあ満足している」と回答している。

### ダム湖利用実態調査による利用者数

- ①平成18年度調査(石淵ダム) 679人
- ②平成27年度調査(胆沢ダム) 8,364人
- (②/①) = 約12.3倍

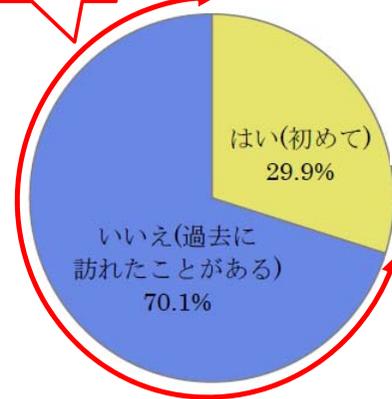
### 胆沢ダム



### 調査日別の利用者数

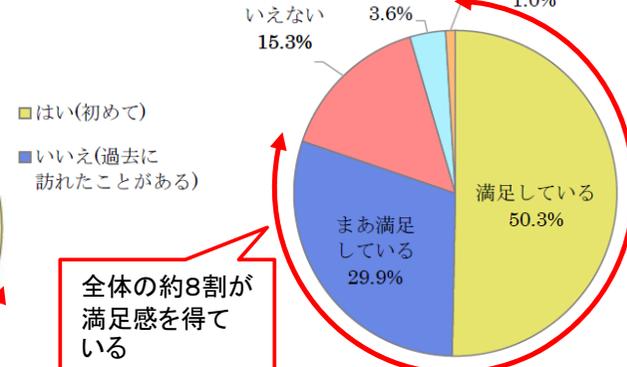
(出典:平成27年度ダム湖利用実態調査)

全体の約7割がリピーター



### 胆沢ダム来訪回数

やや不満である 1.0%  
不満足である 3.6%  
どちらともいえない 15.3%



全体の約8割が満足感を得ている

### ダム湖を利用した感想

### (参考) 石淵ダム調査日別の利用者数

(出典:平成18年度ダム湖利用実態調査)

